

令和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立可茂特別支援学校

学校番号	115
------	-----

自己評価

学校教育目標	一人一人が笑顔で主体的に、地域で生活できる力を高める。 一人一人の可能性を最大限伸ばし、生きる力を育て、社会に自立し、心身共に調和のとれた人間性豊かな児童生徒を育成する。
--------	--

評価する領域・分野	教育活動と保護者との連携
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの評価は全体的に昨年度よりも高くなり、当校の教育活動に一定の理解をいただけていると思われる。しかし、「働き方改革」「体罰防止・いじめ防止の取り組み」「医療機関との連携」「進路支援の関係機関との連携」において「わからない」の回答が多く見られる。保護者への情報提供が課題と考えられる。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な保護者との連絡や意思疎通を大切にする。 ・家庭や地域に向けて、教育活動に関わる情報発信を積極的に行う。 ・魅力のある学校作りすすめるため、職員の資質向上に努める。
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA執行役員会を通じて、行事等の学校の教育活動について進捗状況を随時伝え理解を得る。 ・地域に開かれた学校を目指すため、学校行事等参観する機会を設ける。
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・通信や校内掲示、新聞等を通じて当校の教育活動を広く紹介する。 ・保護者、地域と連携した学校行事の立案と推進 ・全職員によるカリキュラムマネジメントやいじめ・体罰防止のための職員の研修を実施する。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と円滑な連携を図ることができたか。 ・進路支援、生徒支援の充実により、安心して生活できる学校であることに理解を得られたか。
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けの喫茶サービスや美濃加茂市健康福祉高齢福祉課と連携した「思い出カフェ」の開催。 ・人権意識を育むため、行事ごとに他者を認める「いいとこみつけ」の実施。 ・全校職員研修で「育てたい児童生徒像」をテーマとして検討したことで、教育目標を意識することができた。

評価の視点	評価
① 学校の教育方針や指導の内容を保護者(地域)へわかりやすく伝えている。	A (B) C D
② 学校は、児童生徒の様子などについて、保護者への連絡や意思疎通を積極的に行なっている。	(A) B C D
③ 学校は、授業や学校行事等を参観する機会を設けて、教育活動について積極的に公開している。	A (B) C D
成果・課題	総合評価
<ul style="list-style-type: none"> ○ 執行役員会等を通じて教育活動への理解を得、スムーズな行事運営が行えた。 ○ いじめ調査は「学校生活アンケート」とし、回答しやすい問いかけで情報収集に努め、いじめにつながる可能性がある事案をつかみ、根絶するまで継続的な指導ができた。 ▲ 新聞記事などで紹介された児童生徒の活動の紹介が十分できなかった。 ▲ いじめ防止や進路支援部の取組みは、直接対象とならない児童生徒には実感さ 	A (B) C D

れにくい。	
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページなど活用して、学校行事等の情報発信に努める。 ・高等部作業製品をふるさと納税の返礼品とする等、地域との連携を深める。 ・

学校関係者評価 (令和2年2月12日実施)

<p>意見・要望・評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等部作業製品をふるさと納税の返礼品とする等、地域との連携を深めることはよい取り組みである。 ・「にこりん祭」では、子どもたちが作ったものを販売していた。販売では、役割分担されていてとても生き生きと活動していた。 ・卒業した後も、相談できる場があることはとてもよい。 ・学校評価も1, 2の部分の前年度よりも上がっていてよい。保護者は様々なニーズをもってみえるので、先生方で協力して指導していただけるとよい。それが、働き方改革にもつながるのではないかな。 ・中学部の取り組みの中にあつた、毎日着替えに取り組んでいることがよい。仕事をする時に、着替えは必要になる。家庭でもできるようになるとよい。また、最後までやりきる力をつけるような指導もよい。必要なことを、必要な時に実践してもらえることがよい。 ・人権活動で行っている、「いいところ見つけ」の取り組みがよい。 ・生徒の製品がよい。ホームページ等で紹介して、活動の様子を全国の人に見てもらってはどうか。子どものはげみになり制作意欲につながるのではないかな。 ・学校の活動の様子を知ってもらうこと、地域の人に知ってもらうのにはどのようにしたらよいか考えていってはどうか。学校というものは、敷居がたかいところがある。
--